

ナポレオン皇帝即位200周年記念コイン

<報道用資料>

平成17年1月12日 泰星コイン株式会社

フランス国立造幣局 鋳造

ナポレオン皇帝即位200周年記念コイン

1月17日(月)より国内予約販売開始

泰星コイン株式会社(本社:東京/社長:岩村 徹)は、フランス国立造幣局(モネ・ド・パリ) 鋳造・フランス共和国発行の『ナポレオン皇帝即位200周年記念コイン』の日本国内での予約販売を全国の主要金融機関などを通じて1月17日(月)より開始いたします。

このコインは、ナポレオン1世(在位1804年-1814年、1815年)の皇帝即位200周年を記念して、フランス国立造幣局が2003年~2005年にかけて鋳造するもので、法典の編纂や貨幣制度、教育制度など近代化に多大なる功績を残したナポレオンにちなんだ4種のデザイン《ジェルミナル》《戴冠式》《エウロパ2004》《アウステルリッツ》の金貨・銀貨です。金貨・銀貨それぞれの4種セットと《アウステルリッツ》金貨のみを単品で販売いたします。

価格は、金貨《アウステルリッツ》が99,750円(限定800枚)、金貨4種セット《ジェルミナル》 《戴冠式》《エウロパ2004》《アウステルリッツ》が399,000円(限定2,000セット)、同じく 銀貨4種セットが33,600円(限定2,500セット)(いずれも消費税込)となっております。

《ジェルミナル 》 欧州統合を夢見た芽の月のフラン

ナポレオンが国内通貨制度を強化するために導入した新しいフラン<フラン・ジェルミナル>。この通貨制度は1803年3月28日から1914年まで運用されました。<ジェルミナル>とはフランス革命暦で「芽の月=3月」をさします。今回発行の《ジェルミナル》の表・裏面中央に、その当時の貨幣デザインを配しました。

《戴冠式》 皇帝の誕生とナポレオン法典

ルーブル美術館に所蔵されるルイ・ダヴィッドの大作「皇帝ナポレオン1世と皇妃ジョセフィーヌの戴冠」の一部を表面デザインに描いています。裏面は、制定から200年経つ今もなお現行の民法典として効力を持つ<ナポレオン法典>の革表紙の本が描かれています。

《エウロパ2004》 200年後に実現した欧州通貨統合

2002年に12カ国でスタートしたユーロ。それはまさにナポレオンが夢見た欧州統合の実現です。 2004年5月1日には10カ国の新しい加盟国を迎え、欧州通貨経済同盟(EMU)はさらに拡大しま した。表面にはヨーロッパの語源となる女神エウロパと最初の加盟国を12のロゴで象徴化、裏面 には新しい10カ国も含めたパズル状の地図で拡大した欧州連合を表しています。

《アウステルリッツ》 栄光の頂点を飾る作戦

戴冠式から1年後の1805年12月2日、チェコのアウステルリッツでナポレオン率いるフランス軍が『獅子の跳躍』と呼ばれる異例の作戦でオーストリア、ロシア連合軍を撃破。ナポレオンの最も輝かしい一戦となりました。コインの表面には、栄光の頂点に立つナポレオンがアウステルリッツの昇る太陽を浴びる姿、裏面には連合軍があえなく退却する場面を描いています。

英雄の名にふさわしい精緻な技術と最高の品質

これら4種のデザインをフランス造幣局の精緻な技術によって刻み、高い品位と、限定された 枚数で鋳造されたこのコインは、ナポレオンの功績にふさわしい輝きをもった逸品です。

1



Monnaie de Paris

ナポレオン皇帝即位200周年記念コイン

ナポレオン皇帝即位200周年記念コイン 発売概要

規格及び発行限度数

金貨	額面	重量	直径	品位	発行限度数	対日割当数
ジェルミナル	10ユーロ	8.45g	22.0 mm	92.0%	10,000枚	2,000枚
戴冠式	50ユーロ	31.00g	37.0 mm	99.9%	3,000枚	2,000枚
エウロパ2004	20ユーロ	17.00g	31.0 mm	92.0%	3,000枚	2,000枚
アウステルリッツ	20ユーロ	17.00g	31.0 mm	92.0%	4,000枚	2,800枚
銀貨	額面	重量	直径	品位	発行限度数	対日割当数
ジェルミナル	1-1/2ユーロ	22.20g	37.0 mm	90.0%	15,000枚	2,500枚
戴冠式	1-1/2ユーロ	22.20g	37.0 mm	90.0%	20,000枚	2,500枚
エウロパ2004	1-1/2ユーロ	22.20g	37.0 mm	90.0%	40,000枚	2,500枚
アウステルリッツ	1-1/21-0	22.20g	37.0 mm	90.0%	15,000枚	2,500枚

すべて表面を鏡のように美しく磨いたプルーフ仕上です。

販売価格 A.20ユーロ金貨< >・・・・・・・・99,750円(限定800枚)

B. 金貨4種セット< >・・・・・・399,000円(限定2,000セット)

C.銀貨4種セット< >・・・・・・・ 33,600円(限定2,500セット)

価格には消費税5%が含まれております。 すべて造幣局特製ケースと発行証明書を添付します。 金貨 および銀貨はセット販売のみです。

発売開始日 平成17年1月17日(月)全国一斉発売開始

鋳 造 フランス国立造幣局(モネ・ド・パリ)

発 行 フランス共和国

総 輸 入 元 泰星コイン株式会社

本件に関するお問合せ先 ■

「ナポレオン皇帝即位200周年記念コイン」事務局(泰星コイン内)

〒104-0032 東京都中央区八丁堀4-9-4 西野金陵ビル4階 TEL 0 3 (3 2 9 7) 8 2 2 8 担当 / 本田・馬場・庄司・砂川 FAX 0 3 (3 2 9 7) 8 2 2 7 E-mail: secretariat@taiseicoins.com







ナポレオン皇帝即位200周年記念コイン

デザインと解説-1

ジェルミナル

1799年のクーデターにより執政政治を樹立し自ら第一執政となったナポレオンは、国内通貨制度を強化するため、フランス、ついで残りの欧州において新しいフラン「フラン・ジェルミナル」の導入を決め、1803年3月28日(フランス革命暦 11年芽の月)に布告、発行しました。「ジェルミナル」とは、フランス革命暦*でいう芽の月3月をさします。貨幣はその他の欧州諸国に影響を及ぼし、この通貨制度は1914年まで運用されました。その「フラン・ジェルミナル」の当時のデザインを表面、裏面それぞれに配しました。

<表面>



表面には当時のデザインである<第一執政、ボナパルト>の文字と肖像が刻まれ、周囲には<自由・平等・博愛>の文字と発行年銘が刻まれています。



<裏面>





裏面も当時のデザインにならって月桂樹の冠の周囲に<フランス共和国名>と中央に旧額面が描かれています。・ジに周囲に<フラン・ジェルミナル200周年>の文字と新額面が刻まれています。

* < フランス革命暦 >

フランス革命政府が制定した暦法。

1793年11月24日の国民公会での可決、公布から 1805年12月31日までの約12年間だけ使用されま した。暦に合わせて合理的に変更した10進法の時間 単位が生活のサイクルに合わず、ナポレオン自身が 廃止し、グレゴリオ暦を復活させました。

概要

- ・1年の始まりはパリにおいて太陽が秋分点を通過 する日
- ・1793年の秋分である9月21日の翌22日に始まる 年を共和国第1年とする。
- ・1年365日を1ヶ月30日として12ヶ月に分け、余 分の5日を年末におき休日とする
- ・週を廃止し、1ヶ月を10日ごとの3つの旬に分け、 10日・20日・30日を休日とする
- ・1日を10時間、1時間を100分、1分を100秒とする。

多 专

各月の名称は、詩人ファーブル・デグランティヌによって文学的な名がつけられ季節ごとに韻を踏んでいます。

< 秋 > -aire

Vendémiaire ヴァンデミエール = ぶどうの月 (9月)

Brumaire ブリュメール = 霧の月 (10月)

Frimaire フリメール = 霜の月 (11月)

<冬>-ose

Nivôse ニヴォーズ = 雪の月 (12月)

Pluviôse プリュヴィオーズ = 雨の月 (1月)

Ventôse ヴァントーズ = 風の月 (2月)

<春>-al

Germinal ジェルミナル=芽の月(3月)

Floréal フロレアール = 花の月(4月)

Prairial プレリアール = 草の月 (5月)

<夏>-idor

Messidor メッシドール = 収穫の月 (6月)

Thermidor テルミドール = 熱の月 (7月)

Fructidor フリュクティドール = 実の月(8月)

Monnaie de Paris

Napoleon and the Great Europe

ナポレオン皇帝即位200周年記念コイン

デザインと解説 - 2

戴冠式

1804年12月、ナポレオンの戴冠式が、パリのノートルダム寺院で行われました。ローマ教皇が皇帝の冠をかぶせようとするとナポレオンは両手で受けて自らの頭に載せ、さらに自身の手で妃ジョセフィーヌに冠を与えました。この場面は、ルーブル美術館に所蔵されているルイ・ダヴィッドの大作「皇帝ナポレオン1世と皇妃ジョセフィーヌの戴冠」*でも知られています。また、彼が制定した民法典「ナポレオン法典」**は今なおフランスの民法典として効力を持ち、世界各国の模範となり、日本の民法制定にも大きな影響を及ぼしました。

<表面>



戴冠式の舞台、ノートルダム寺院を背景に妃ジョセフィーヌに冠を与えるナポレオン1世。周囲に<1804年ナポレオン戴冠式>の文字<アシンス共和国>の頭文字<アトが刻印されています。

POLEO,

<裏面>





現在もフランスの現行とは、「Code Civil」」と対して対力と呼います。それではアンスの現行ができまれています。とが、2つてはアンスの現行はが下れていますが、2つでは、1、1ので

参考

** < ナポレオン法典 >

1804年3月21日、ナポレオンが制定したフランス 民法典。200年を経た今も現行の民法典として効 力を持っています。

当初は<Code civil des Francais(フランス人の 民法典)>と題され、1807年9月3日の法律でナポ レオン法典となり、その後何度かの改題後<Code civil>とされましたが、現在でも<ナポレオン法 典>の名が息づいています。

人(=権利の主体)、物(=権利の客体)、契約 (=権利の変動)の3つを柱とする内容で、世界 各国の民法典の近代化の模範となり、明治時代の 日本の法典作成にも多大な影響を及ぼした。

(全2281条)

・1~6条 前章

•7~515条 第1編<人>

・516~710条 第2編<財産及び所有権のさまざまな変容>

・711~2281条 第3編<財産所得権を取得するさまざまな仕方>

*ダヴィッド作

「皇帝ナポレオン1世と皇妃ジョセフィーヌの戴冠」 ルーブル美術館所蔵



1805~06年 621×979cm ルーブル美術館の中で2番目に大きい作品

ナポレオン皇帝即位200周年記念コイン

デザインと解説 - 3

エウロパ2004

ナポレオンが夢見た欧州統合が<ユーロ>という統一通貨により200年を経て実現しました。2002年、12の加盟国でスタートしたユーロは、2004年5月1日、新たに10カ国の加盟国を迎え、欧州通貨経済同盟(EMU)*はさらに拡大しました。大きな転換期を迎えるヨーロッパが、また新たな歴史を刻み始めました。

<表面>



EUROPA DE LA COMPANIA DE LA COMPANIA

< 裏 面 >





参 老

* < EUとEMU >

経済産業等の統合を目的としたEC=欧州共同体から始まり、その後市場や通貨、政治を含めた統合を目的として1993年にEU=欧州連合が誕生しました。EUは

- ・EMU = 欧州通貨同盟(単一通貨 = ユーロの実現)
- ・共通外交、安全保障政策樹立を目指す政治統合
- ・司法、内務分野における政府間協力

を3本柱として設立されました。

2004年よりユーロの流通が始まりました。

EU参加国

ドイツ、フランス、イタリア、ベルギー、ルクセンブルグ、オランダ、デンマーク、アイルランド、イギリス、ギリシャ、スペイン、ポルトガル(ここまで当初の12カ国)、オーストリア、フィンランド、スウェーデン(現在15カ国)

EUの旗

スカイブルーの背景に、12の星を円形に配置。参加国が増えてもこの星の数は不変で、古代ギリシャの円にならって完璧さと充実を象徴しています。

EMU (ユーロ) 参加国

・当初の12カ国

ドイツ、フランス、イタリア、ベルギー、ルクセン ブルグ、オランダ、アイルランド、スペイン、ポル トガル、オーストリア、フィンランド、ギリシャ

・2004年5月からの参加10カ国

ポーランド、ハンガリー、チェコ、エストニア、ラトヴィア、リトアニア、スロヴァキア、マルタ、キプロス

- ---



EUの旗

ナポレオン皇帝即位200周年記念コイン

Monnaie de Paris

デザインと解説 - 4

アウステルリッツ

戴冠式から1年後の1805年12月2日、チェコのアウステルリッツでナポレオン率いるフランス軍7万3000 名がロシア皇帝アレクサンドル1世とオーストリア皇帝フランツ2世の連合軍8万7000名を撃破しました。 < 獅子の跳躍 > と呼ばれるナポレオンの異例な作戦によって、濃い朝霧がたちこめる中、連合軍先鋒体を 右側から急襲し大勝利を治めました。ナポレオンの最も輝かしい戦いであり、この大勝で彼は凱旋門の建 設を命じました。3国の皇帝が一堂に会したため「三帝会戦」とも言われます。

<表面>





朝靄の中、アウステルリ ッツに昇る太陽の光を浴 び、大勝を治め栄光の頂 点にいるナポレオンを描 いています。その朝日の 中心には、ナポレオンの 紋章*にある鷲(Imperial Eagle)。その鷲が両足で 握っているのは天与の力 である皇帝の権力を象徴 するゼウスの雷(いかずち) です。上部にはフランス 共和国の頭文字<RF>と 発行年銘、下部周囲には <アウステルリッツの太 陽>の文字を刻印。

<裏面>





オーストリア、ロシア 連合軍が、プランツェ ン高地の攻防で、フラ ンス近衛騎兵師団にあ えなく撃退され、全滅 するのを避けるために 連合軍が南へ退却して いく様を描いています。 上部周囲にはく自由、 平等、博愛 > の文字と 額面を刻印。

拡大図説

天与の力である 皇帝の権力を象 徴するゼウスの 雷(いかずち)を 握る皇帝の鷲。

ギリシャ神話 においてゼウス は火と鍛冶の神 ウルカヌスによ り鍛え上げられ たこの雷を投げ

近衛師団歩兵第1連隊

アウステルリッツの太陽 ナポレオン D'AUSTER ザッチャン湖

フランス近衛騎兵師団

プランツェン高地

オーストリア・ ロシア連合軍

ナポレオンの紋章*



Monnaie de Paris

ナポレオン皇帝即位200周年記念コイン

参考

ナポレオン1世(ナポレオン・ボナパルト) 年譜

- 1769年 8月15日 コルシカ島アジャクシオのイタリア下級貴族の家に生まれる。
- 1779年 ブリエンヌ陸軍幼年学校入学。
- 1789年 フランス革命に参加 急進派のジャコバン派支持の冊子を発表して逮捕される。
- 1795年 バンデミエールの反乱で王党派の鎮圧で活躍をして再起。
- 1799年 クーデターにより執政政府を樹立。自ら第一執政となる。
- 1802年 8月2日 終身執政の是非を問う国民投票で圧倒的多数で信任され専制政治の道を開く。
- 1804年 帝位につき、フランス革命の成果である「人民の自由、法の下の平等、私的所有権の絶対」を法的に確認する民法を制定。1807年に「ナポレオン法典」と改題される。
- 1805年 アウステルリッツでロシア皇帝アレクサンドル1世とオーストリア皇帝の連合軍を撃破。
- 1806年 凱旋門の着工を命じる。
- 1812年 ロシア遠征。ボロディノ会戦の勝利。(フランス軍13万とロシア軍12万の戦いで、このロシア遠征はトルストイ「戦争と平和」やチャイコフスキー作曲「序曲1812年」の作品となっている。)イギリスを除く全ヨーロッパをほぼ制圧。
- 1813年 ナポレオン支配に諸国が抵抗する戦争が開始。(解放戦争)ナポレオンはパリに敗走。
- 1814年 4月2日 フランス元老院はナポレオンの廃位を宣言。4月11日退位宣言にナポレオンが署名。
- 1814年 5月4日 エルバ島に流される。ルイ18世による王政が復活。
- 1815年 2月26日 密かにエルバ島を脱出し、1000人の兵士と共にカンヌに上陸、進撃を開始。 3月20日 パリに戻り、再び皇帝位に就く
- 1815年 6月18日 ワーテルローの戦いに敗れ、6月21日 パリに敗走、22日退位。10月15日 イギリス 領セントヘレナ島へ流される。
- 1821年 5月 同島で死去。51才。

フランス国立造幣局 (モネ・ド・パリ)

フランスの貨幣鋳造の歴史は、貨幣関係事業を統合したシャルルマーニュ大帝の時代、9世紀にさかのぼります。その後ルイ15世の提唱により、約6年の歳月をかけてセーヌ河畔にあるコンティ館に建設された造幣局が1775年に完成、1879年には現在のコイン・メダル庁が発足しました。

200年以上の歴史をもつモネ・ド・パリでは、鋳造、鍛造いずれも選りすぐりの技術者による手づくりで、メダルをはじめ、記念コイン、勲章、各種装身具などの製作を行っています。

その品質を保証するために、すべての記念コイン、メダルにモネ・ド・パリの識別マークと刻印工場長の識別マークが刻印されています。現在の刻印工場長(ユベール・ラリビエール / 2003年7月1日~)のマークは、彼の名前にちなんでフレンチホルン(狩猟の守護聖人ユベールを象徴する狩猟ホルン)と波(ラリビエールは「川」の意)、そして彼の星座(双魚)から魚のシルエットを組み合わせたものです。



モネ・ド・パリの識別マーク



刻印工場長の識別マーク